



西洋中世学の伝え方

—「薔薇の名前」の世界を語る—

西洋中世学の研究成果を学生に伝える上で、どのようなハードルが存在しており、またいかなる手法が有効でしょうか。昨今、教育現場ではますます「伝える」技術が必要とされてきています。そこで本セミナーでは、試みにくウンベルト・エーコ『薔薇の名前』をネタに授業をするとしたら、どんな風に中世世界を語るができるかという切り口で、教育手法について考える機会をもつことになりました。現在高校や大学で教壇に立っているスピーカーに「授業」をしていただき、その内容をもとに参加者のみなさんと一緒に西洋中世学を伝える手法について考えていきます。そのなかで、高校の世界史・倫理と大学の西洋史・哲学史とをいかにつなぐかといった課題にも取り組んでみたいと思います。当日は、教育学における構成主義や美術館で取り入れられている対話型鑑賞法なども参考にしながら、「伝える」意味についてみんなで語り合ひましょう。

日程：2012年9月8日(土) 13:00-18:00

場所：京都女子大学 (J校舎 5階 524教室)

(参加費：200円)

トークセッション (13:00-15:45)

<歴史>

村上司樹 (大阪市立大学研究員/摂南大学非常勤講師)

上田耕造 (関西大学非常勤講師)

倉田有里 (桑名北高等学校)

<哲学>

山口雅広 (関西大学非常勤講師)

ラウンドテーブル (16:00-18:00)

セミナー終了後に懇親会を予定しています。
ご都合の合う方はこちらにもぜひご参加ください。

懇親会 (18:00-20:00) (会費：2000円)

